

入場無料

登録不要

日時：平成 27 年 10 月 15 日 (木)
13:00～15:50 (12時受付開始)

会場：東京医科歯科大学
M & D タワー 2 階
鈴木章夫記念講堂
(東京都文京区湯島 1-5-45)

- JR 御茶ノ水駅 (御茶ノ水橋口出口)
- 東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅
(B1 出口：JR 御茶ノ水駅方面出口)



高度医療を支える材料・システム研究開発の「今」を知る

高齢社会を迎えたわが国では健康寿命の延伸、国民医療費の適正化、医療技術・機器の国際競争力向上など、医療を取り巻く環境は厳しさを増し、これらの課題を解決するために早期診断・予防、低侵襲治療、再生医療などの研究が進められています。今回のシンポジウムでは高度医療を支援する材料・システムの研究開発に焦点を当て、国立大学附置研究所・センターが推進している医工連携、異分野融合領域における最先端の研究活動の一端を知っていただければ幸いです。

プログラム

13:00～13:05	開会の辞	東北大学 多元物質科学研究所長 村松 淳司
13:05～13:15	歓迎挨拶	東京医科歯科大学 学長 吉澤 靖之
13:15～14:00	講演	「骨の機能を支援するチタン材料 ー骨構造用チタン系バイオマテリアルー」 東北大学 金属材料研究所 教授 新家 光雄
14:00～14:45	講演	「健康長寿のためのバイオセンシング」 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授 三林 浩二
14:45～15:00	休憩	
15:00～15:45	講演	「医工連携による補助人工心臓の研究開発」 東京工業大学 精密工学研究所 教授 進士 忠彦
15:45～15:50	閉会の辞	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所長 宮原 裕二

健康で活力ある長寿社会を目指して 理工学の医療・生命科学への貢献